

就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	IPFactoryぶろぼの	
人員配置区分	1. I型 (7.5 : 1) 2. II型 (10 : 1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 5 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 2 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし (経過措置対象)	
評価点の公表	インターネット	(公表場所) ホームページ (URL) https://probono.vport.org/about/#information-disclosure
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	IPFactoryぶろぼの
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぶろぼの福祉ビル201号
電話番号	0742-35-3232

事業所番号	2910101449
管理者名	川崎 裕平
対象年度	R5年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：ITセンター奈良 実施日程：令和5年1月～令和5年5月 実施した生産活動・施設外就労の概要： 企画・設計・デザイン・開発 利用者数 等：6名	<活動の様子> 成果物  コメント 紙媒体のデザインテイストを大事にし、見やすく、わかりやすく、使いやすいサイトになるように企画・設計・デザイン・開発した
<目的> 100年住み続けたい奈良」をキーワードに、奈良で暮らす人に向けた情報誌のweb広報媒体の作成 地域メリット：持続可能な社会にむけて地域での取り組みや実践方法を知ることができる 対象者メリット：web媒体での専門性を持たずともweb広報媒体が完成し、情報発信ができるようになる	
<成果> 結果：見た目、機能を一新したwebサイトの完成 成果：デザイン、機能の一新により閲覧者が必要なじょうゆ法に簡単にたどり着き、コンテンツの内容もわかりやすくなった 課題：顧客が独自で情報発信できるように、運用ルール見直しや操作性の向上の機能改修	

連携先の企業等の意見または評価

季刊の地域雑誌という紙媒体による情報発信を続けているが、一方でHPは発刊の告知や報告程度にとどまり、情報発信媒体として生かしきれていないという課題があった。 編集部には、「こうしたい」というイメージがあるものの、専門用語には詳しくなく、どのように発注すれば理解してもらえるのか不安があったが、希望するポイントを並べるだけで、要望に合うサイト設計を提案してもらうことができた。また、開設後の不明点や変更点についても丁寧に対応してもらうことができ、単なる制作依頼というよりも、安心して相談できる「かかりつけ医」のような存在になっている。 今後も改変しながらサイトを育てていきたいと考えており、「作りっぱなし」で終わらない制作事業所との関係は大切なものと感じている。			
連携先企業名	さとびこ編集室	担当者名	阿南セイコ

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	IPFactoryぷろぼの	事業所番号	2910101449
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぷろぼの福祉ビル201号	管理者名	川崎 裕平
電話番号	0742-35-3232	対象年度	R5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所：ITセンター奈良 実施日：毎月1回 実施概要：顧客からの要望、仕様変更について内容説明および、実業務対応方法のレクチャー 利用者人数：6名	<活動の様子> 
<目的> 狙い：顧客からの要望・仕様変更についての理解と対応方法の習得 メリット：対応できる業務が増えることで社会へのつながりを感じ、成功体験を積むことで自信につながる。	
<成果> 結果：多くのスタッフが業務携わりミスなく業務を進めることができた 成果：複雑な仕様であいまいな依頼が多い中、多くのスタッフがミスなく業務を進めることができるようになった 課題点：一部の業務はごく一部のスタッフしか理解できておらず、これらの業務の手順化が必要	大手アパレル企業からの依頼により大手ECモールへ商品出展業務、カタログから企業指定の商品を抜き出し、価格やサイズ、写真などを抜き出しECサイトへ出品 ※契約上画像はぼかしを入れています。

連携先の企業や事業所等の意見または評価

様々な仕様や仕様の変更、訂正などをスタッフ全体で共有し、担当者全体の作業能力が向上した。また、各スタッフが担当している作業の前後の周辺作業と、最終的な目的を明確にすることで、ミスの防止と品質の向上を図ることができている。 利用者の個々の作業が「自身の業務が完了したら終わり」ではなく、業務全体の内容や納期、クライアントからの要望をすべてのスタッフが共通認識をもつことで当該業務以外でも仕事の質が向上した	
連携先企業（担当者）	様々な作業が同時進行で進む内容に、柔軟に対応していただいている。

利用者からの意見・評価

利用者A：他チームより連携を取りながら作業することが多いので、定期的なレクチャーは各スタッフの認識の共有として助かっている。 利用者B：お互いの作業内容の理解ができて、全体の仕事の流れの把握ができた。 利用者C：定期的に自分の作業内容や工程を見直す機会になっている

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	IPFactoryぶろぼの
住 所	奈良市大宮町三丁目5-41ぶろぼの福祉ビル201号
電話番号	0742-35-3232

事業所番号	2910101449
管理者名	川崎 裕平
対象年度	R5年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		80 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満	○	
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

（Ⅱ）生産活動		
①過去３年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	50
②過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去３年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去３年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去３年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去３年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		点
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤－10点 ⑥－20点		

(Ⅲ) 多様な働き方 (※)		
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計 (注1)	6	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上(※)			5 <
--------------	--	--	--

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出していない。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数							
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点		
多様な働き方	0点	5点	15点					
支援力向上	0点	5点	15点					
地域連携活動	0点	10点						
経営改善計画	0点	-50点						
利用者の知識・能力向上	0点	10点						

合計
170 点 / 200点

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（5年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	36,661	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	5,539	人	利用者の1日の平均労働時間数	6.6	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	-----	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（3年度）

生産活動収入から経費を除いた額	33,739,886	円	利用者に支払った賃金総額	36,718,739	円	収支	▲ 2,978,853	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-------------	---

前々年度（4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	41,743,181	円	利用者に支払った賃金総額	41,706,331	円	収支	36,850	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	47,056,618	円	利用者に支払った賃金総額	46,918,491	円	収支	138,127	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

②利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☐
----------------------	--------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	☒
①外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
面談スキル～半構造化面接について	
研修講師	畿央大学 山本真也 先生
実施日・受講者数	9月 8日 4人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
令和5年度 愛媛県共同受注窓口強化事業の研修会	
実施日	3月 22日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	
実施日/参加者数	月 日 人
リワード株式会社	
実施日/参加者数	2月 22日 4人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	デジタルメッセ奈良
主催者名	奈良県
日時	2月 8日
内容	デジタル技術の展示会

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	☐
⑤当該人事評価制度を周知している	☐
人事評価制度の制定日	年 月 日
人事評価制度の対象職員数	名
うち昇給・昇格を行った者	名
当該人事評価制度の周知方法	

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	☐
⑥当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

⑥指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。